

むさしの保育NEWS

武蔵野市保育のガイドラインについて

武蔵野市では、武蔵野市内の保育施設における保育の質を維持・向上できるよう、平成 24 年に作成した『武蔵野市保育のガイドライン』を活用した保育を実践しています。

『保育のガイドライン』の策定

『保育のガイドライン』は平成 22 年 11 月に市立保育園の保育士をはじめとする専門職のほか、民間保育園の保育士、認可保育園の保護者を委員とする検討委員会を設置し、今まで市立保育園で共有してきた「保育のガイドライン」をベースに子どもたちの最善の利益が最大限尊重されるための事項について議論を重ね、まとめたものです。

『武蔵野市保育のガイドライン』を保育に活かしていく取組み

平成 24 年 3 月の策定後は「保育のガイドライン保育部会」を立ち上げ、毎年設定するテーマに沿って各園での保育実践の検討や学びあいなど、その活用と積み重ねが継続して行われています。

また、専門職である保健・栄養も合同会議などを通じて、ガイドラインの共通理解や情報共有などを行っています。

各部会には武蔵野市内の認可園職員が参加し、それぞれのテーマに沿って話し合いをしています。以下は平成 28 年度に各部会で話し合った内容です。

保健部会

テーマ：「安全教育・リスクマネジメント強化」

研修「保育事故：疾病事故報告から
学ぶリスクマネジメント」

講師：弁護士 寺町 東子 氏

⇒ 研修を受け園での活用を検討、実践

- ・職員間の共有
- ・全職員の細やかな配慮と連携
⇒保護者との信頼関係

研修「子どもの成長障害を見落とさないために」

講師：医師 熊田 篤 氏

栄養部会

テーマ：「食育の推進」～食に興味を持ち、楽しく食べる～

研修「武蔵野市の食育目標の考え方・食育計画の
たて方・実施・評価について」

☆計画を踏まえて、実践が適切に進められているかを把握し、経過や結果を記録し、実践を評価することを通して、次の実践に向けて改善していく

- ⇒・できること、身近な事を目標にする
- ・子どもの頃からの食生活の大切さ

各部会ではグループに分かれて
討議を行っています。

保育部会

テーマ：「幼児保育で大切にしたいこと」

- ・子どもの姿から遊びを通して大切にしたいこと
 - ・保育での子ども達の学びの姿
 - ・幼児の体づくりからみた保育士のアプローチ
- ⇒各園の実践を出し合い、保育を振り返る



■ 各部会では、話し合った内容を『武蔵野市保育のガイドライン』に立ち返り、大切にしている事を再確認しています。

『保育のガイドライン』の改訂

策定から5年以上の年月が経過する中で、子ども・子育て支援新制度の施行や子どもプラン武蔵野の改定、保育所利用児童数の急激な増加やそれに対応する保育施設の整備など、保育施設をめぐる社会情勢がめまぐるしく変化しています。

一方で、保育のガイドラインの根幹となっている保育所保育指針が平成30年4月に10年ぶりに改正されることになり、29年度はその周知期間となっています。

これらの状況を受け、平成28年度に「武蔵野市保育のガイドライン」改訂の検討を行いました。改訂にあたっては、ガイドライン策定の議論を尊重し、制度変更等に対応する部分のみの必要最小限の修正にとどめ、平成29年3月に改訂版を策定しました。なお、それ以外の内容の見直しは、平成30年の保育所保育指針の内容等をふまえて行うものとししました。

今後も、武蔵野市の子どもたちの健全な心身の発達を最優先に保障するため、「武蔵野市保育のガイドライン」を認可施設に関わるすべての職員・保護者が共有し、実践できる仕組みを構築し、実効性のあるものとする事で、さらなる保育の質の向上を目指していきます。



『武蔵野市保育のガイドライン』研修会 ～平成29年6月20日(火) 武蔵野公会堂～

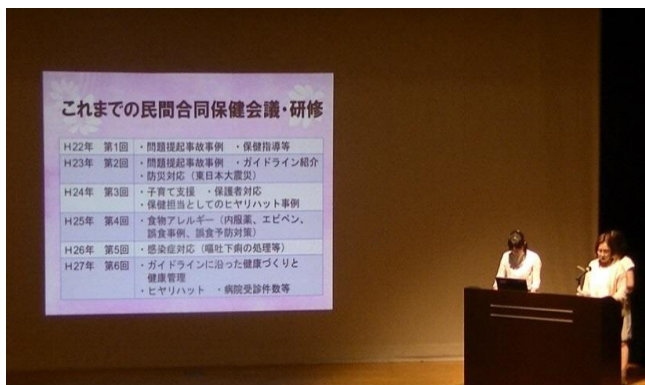
『武蔵野市保育のガイドライン』の取り組みとして、表面のように各部会で話し合いをしています。これらを武蔵野市の保育施設の全職員に伝えていく場として『武蔵野市保育のガイドライン』研修会を行いました。「ガイドラインの改訂について」の他、各部会が平成28年度に話し合いをした内容を報告しました。新規施設も増えていく中で、武蔵野市が大事にしている事を改めて確認できた研修会となりました。



参加者335名からのアンケートでは、「様々な園が一同に会して、『武蔵野市保育のガイドライン』について学び合える貴重な時間だったと思います」、「保健、栄養の日頃の取り組みや、それぞれの視点からの保育等、ガイドラインに即した実践の発表が聞けて参考になりました」、「他園

の実践から自分の視点が広がった。ガイドラインに照らし合わせて確認しあう事が、武蔵野市の保育の質を保ち、向上させることができると思った」等の意見がありました。

武蔵野市では、今後も『武蔵野市保育のガイドライン』を活かした保育を展開していきます。



『武蔵野市保育のガイドライン』は武蔵野市のホームページからダウンロードが可能です。

武蔵野市保育のガイドライン

検索

